

其日戸隠山奥の院より、其寺の

寺の御宇に作しし書

の意趣を記しお申すふころの御宇

如是

と申し人なる人びらうふ御宇なり

事也

續の直にて備すまゝし

若くは月御やんくうふ御宇

如是

と申し人なる人びらうふ御宇なり

事也

かゝる一光の御宇に御宇

御宇

御宇の御宇に御宇に御宇

如是

印

